

Saori Ikeuchi TIMES / no.025 / 2021.2.14 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
 日本共産党
 衆院東京12区
 池内さおり事務所
 〒115-0042
 東京都北区志茂
 2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

看護師、保育士、妊婦さん…コロナ禍の声にこたえる政治へ

池内さおりさんは緊急事態宣言下の1、2月、様々な現場や当事者からの聞きとりを行いました。

地域医療と同時にコロナ患者治療を担う北区・王子医療生協病院の大島野江子看護師は、二次感染防止のための努力や業務量増大の苦勞などを語りました。また協力要請に応じない医療機関名を公表するとした政府案に対し、「現場の状況を理解していない」と抗議。池内さんは、医療機関への減収補てん、従事者の待遇改善、感染拡大抑止策の実行を政府に強く求めていくと語りました。

また12区内の保育園の園長と保育士は、感染対策に配慮した保育内容の工夫の苦勞や、保護者会など交流の機会が失われていることによる懸念、また保育士の労働条件の厳しさなどを語りました。池内さんは、命を支えるケアの営みとそれを支える従事者を大切にす政治へと変えていきたいと思いますと呼びかけました。(裏面に続く)



保育園園長・保育士(手前)から話を聞く池内さん(奥)

色あざやかな社会へ

Column vol.25

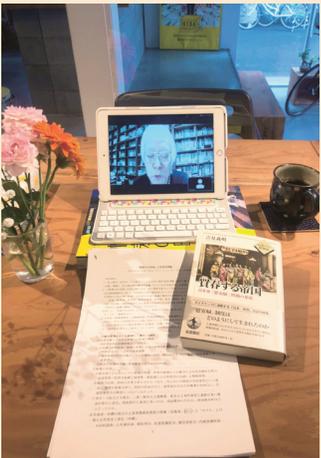
来し方から知る、日本という国

日本共産党東京都委員会のジェンダー平等委員会。その責任者を私は務めています。先日、委員会主催で吉見義明先生を講師に学習会が実現しました。

吉見先生は日本軍「慰安婦」問題研究の第一人者。しかしそれが故に、歴史偽造をして恥じない立場の人達から常に攻撃にさらされ、闘いの先頭に立ってこられた人でもあります。

私は、学生のときに吉見先生の講義を聞き、「慰安婦」問題について深く知ることができました。これほどの性暴力加害が日本では語られることもかえりみられることもなく、特に日本人の被害女性については多数存在していたのほとんど誰も公式には体験を語ることにさえ出来ずに時間が流れたことに愕然としました。金学順さんによる告発は、女性たちの声にならない声を、国境をこえて世界にとどろかせました。

公娼制度以来続いてきた日本の性売買の根深さ。その延長に実現してしまった「慰安婦」制度。吉見先生の著書『買春する帝国』を多くの人にぜひお読みいただきたいと願います。



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり トークタイム



新型コロナウイルスの状況を踏まえ、
当面の実施を見合わせます。ご了承ください。



立ち会いなしのお産、育児の不安…

(表面の続き) コロナ禍での出産を経験した、北区に住む劇団員の江原朱美さんからは、両親学級や出産立ち会い、産後の面会等ができない状況下での孤独や、コロナの影響で仕事が激減する中での子育ての不安が語られました。

池内さんは体験に心をよせるとともに、「文化芸術復興基金」の創設で文化への支援を進めたい、ともに政治を変えましょうと訴えました。

コロナ禍で性的搾取 深刻に

池内さんは1月13日と20日、一般社団法人Colaboが新宿歌舞伎町で開催した、10代女性向けカフェの活動に参加。性産業への「スカウト」や、買春目的で少女たちに声をかける男性の姿が数多く見られる中、無料の食事・日用品の案内や、避難用ホテルが利用できることを知らせる声かけ活動などを行いました。

コロナ禍の下、子ども、女性など社会的に弱い立場に置かれる人々の声を取り残さない、政治の姿勢と取り組みが強く求められています。



カフェに参加した(左から)せいの北区議、米倉春奈都議、Colabo代表の藤夢乃さん、坂井和歌子衆院比例候補、池内さん、山崎たい子北区議

都議選、総選挙勝利へ！つどい

池内さんは1月28日、そねはじめ都議とともに北区田端・西ヶ原地域のつどいに参加。医療機関の厳しい実情や、子どもの貧困と性搾取の実態等を報告しました。参加者からは、自身の被虐待経験や、コロナで親族を亡くした方が遺体の保管・輸送費等として高額請求された事例など、切実な実態や声が出されました。

池内さんは、世論と野党の奮闘で政府に社会的検査の意義を認めさせるなど道を開いてきた事実も紹介し、次の都議選、総選挙で政治を変えようと呼びかけました。



参加者と語る池内さん(右)と本田正則区議

性的同意って？刑事司法を考える



(上段左から)講師の後藤教授、主催のうすい区議 篠原さん、せいの区議

池内さんは、1月31日にオンラインで開かれた「性的同意って何？刑事司法を考えるジェンダー学習会」に参加しました。

会は立憲民主党・うすい愛子、日本共産党・せいの恵子両北区議と、NPO法人ジェンダーイコール・篠原くるみさんの共催。刑事法を専門とする千葉大学大学院教授・後藤弘子さんが講演し、権力差などによって起こる同意のない性行為をなくしていくために刑法改正が必要だと語りました。

聴覚障害者後援会であいさつ

池内さんは1月30日、東京聴覚障害者後援会の新春の集いであいさつし、自民、公明、維新がGoTo トラベル予算などを盛り込んだ第三次補正予算を強行成立させた事への怒りを表明。この間様々な現場で聞きとってきた声を紹介し、政治の転換を訴えました。

また昨年北区都議補選で、聴覚に障害をもつ、立憲民主党・斉藤りえ候補を応援した経験を語り、互いを尊重し合う重要性を強調。参加者とエールを交換しました。



参加者から手話を教わる池内さん(中央)

いまこそ、変える。
池内さおり 一緒につくろう！新しい政治

総選挙で決着を！今こそ、人と人をつなぐ政治をつくりたい。
私たちの命と暮らし、あらゆる多様な生が大切にされる日本社会を
一緒につくっていきましょう。

キャッシュレス/募金にご協力をお願いいたします。

クレジットカード 郵便振替

池内さおり
日本共産党 衆議院東京12区 比例東京ブロック守定候補

クレジットカード募金にご協力を！

クレジットカードか郵便振替が選べます 詳しくはこちら